

各 位

会 社 名 株式会社ハチバン  
代表者名 代表取締役社長 長丸 昌功  
(コード番号：9950 東証スタンダード)  
問合せ先 執行役員管理部長 木村 英司  
(TEL 076-292-0888)

## 「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」契約の締結について

当社は、株式会社北陸銀行（本店：富山県富山市、代表取締役頭取：中澤宏）との間で、同行が提供する「ほくほくサステナブルファイナンス（ポジティブ・インパクト・ファイナンス型）」※の契約を2025年8月29日に締結しましたので、その概要をお知らせいたします。

※企業活動が環境・社会・経済にもたらす影響を包括的に分析し、特定されたポジティブ・インパクト（P I）の拡大とネガティブ・インパクト（N I）の緩和に向けた取り組みを継続的に支援する融資

## 記

### 1. 本ファイナンスの概要

本件締結にあたり、一般財団法人北陸経済研究所から国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）が公表しているポジティブ・インパクト・ファイナンス原則に則り、包括的なインパクト分析による評価を受けました。また、株式会社日本格付研究所（J C R）から第三者意見（外部レビュー）を取得し、金融原則への適合性の確認と評価の透明性を確保しています。株式会社北陸銀行はインパクト評価で特定した当社のK P Iについて、融資期間中にわたりモニタリングを行います。

- (1) 実行日：2025年8月29日
- (2) 融資金額：50百万円
- (3) 融資期間：5年
- (4) 資金使途：運転資金

### 2. 該当するSDG s の目標



SDG s は Sustainable Development Goals の略称で、2015年に国連で採択された2030年までに達成すべき17の目標と169の具体的なターゲットを定めた「持続可能な開発目標」です。

### 3. SDGs 達成に向けた取り組み

本件締結にあたっては、当社のサステナビリティ重点課題を中心に、特にSDGsの目標達成にインパクトを与える活動として、以下のテーマが定性的、定量的に評価されました。

これらの取り組みの進捗・成果は、当社のホームページ等によって開示いたします。

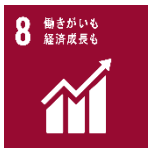
#### ～美味しく健康的な食の提供～

インパクトの種類	ポジティブ・インパクト
インパクトエリア トピック	PI:「健康および安全性」、「食料」、「零細・中小企業の繁栄」
影響を与える SDGsの目標	 
毎年モニタリング する KPI	・2030 年度末までに、国内外でフランチャイズチェーン店舗数を 2025 年度末比で 40%増やす。

#### ～地域の食文化の推進～

インパクトの種類	ポジティブ・インパクト
インパクトエリア トピック	PI:「教育」
影響を与える SDGsの目標	
毎年モニタリング する KPI	・食の衛生・健康を守るため、手洗いと野菜の大切さを学ぶ子ども 向けの教室を 2030 年度末までに、年間 15 回以上開催する。


#### ～従業員の生活の向上～

インパクトの種類	ポジティブ・インパクト
インパクトエリア トピック	PI:「雇用」、「賃金」
影響を与える SDGsの目標	
毎年モニタリング する KPI	・毎年、中途・パートを含め従業員を 10 人以上採用する。 ・毎年、飲食事業分野の全国平均を上回る賃金の改定を実施する。



～誰もが働きやすい職場環境の整備～

インパクトの種類	ポジティブ・インパクト/ネガティブ・インパクト
インパクトエリア/トピック	PI：「雇用」 NI：「健康および安全性」、「社会的保護」、「民族・人種平等」
影響を与えるSDGsの目標	  
毎年モニタリングするKPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人の正社員を 2030 年度末までに 10 人以上に増やす。</li> <li>・平均月間時間外労働時間を 2030 年度までに 15 時間以下に削減する。</li> <li>・平均年次有給休暇取得率を 2030 年度までに 70%以上に高める。</li> <li>・全従業員の育児休業取得率を 2030 年度までに 100%に高める。</li> </ul>

～CO2 排出量の削減～

インパクトの種類	ネガティブ・インパクト
インパクトエリア/トピック	NI：「気候の安定性」
影響を与えるSDGsの目標	
毎年モニタリングするKPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Scope1,2によるCO2排出量を、2030年度末までに2013年度比42%以上削減する。</li> </ul>

～廃棄される食材の活用～

インパクトの種類	ネガティブ・インパクト
インパクトエリア/トピック	NI：「資源強度」、「廃棄物」
影響を与えるSDGsの目標	 
毎年モニタリングするKPI	再生利用等実施率 90%以上を 2025 年度に達成し、以後それを維持する。

以 上